



平成 25 年 12 月 20 日  
ストラスブール研究連絡センター

### フランス高等教育研究省(MESR)

#### ●「フィオラゾ大臣のギュスタブ・ルシー研究所訪問」

2013 年 11 月 12 日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣はギュスタブ・ルシー研究所 (Institute Gustave Roussy) を訪問した。本研究所は欧州で最初に創立されたがん研究所で、2600 名の医務専門家が、患者の治療、新しい抗がん治療法の開発、がんについての知識の普及に当たっている。また、同研究所はビエールサイエンスバレー (Vallée Scientifique de la Bièvre) の未来プロジェクト「科学と健康キャンパス」に組み込まれている。フィオラゾ大臣は、フランスのがん研究の質の高さやフランスのがん患者の件数(1年に36万5千人の新患者)などにふれながら、同研究所でのがん研究の更なる発展へ期待をかけた。

・フランス高等教育研究省“Visite de l'Institut Gustave Roussy”(2013 年 11 月 12 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid74940/visite-de-l-institut-gustave-roussy.html>

### フランス国立科学研究センター(CNRS)

#### ●「バイオインフォマティクスのためのプラットフォーム『E-Biothon』」

CNRS、IBM、Inria、フランスバイオインフォマティクス研究所、start-up イノベーション企業 SysFera は、生物、医学、環境科学研究の発展を促すために、実験用クラウドプラットフォームである E-Biothon を創立する。E-Biothon は 200 テラバイトの容量と 28 テラフロップスの演算性能を備えており、応用ソフト開発のための複雑な生物学的データの処理が行える。本プラットフォームは、2013 年 11 月 18-21 日にデンバーで行われるスーパーコンピューティング展示会(SC 13)で展示される。

・CNRS “Lancement d'E-Biothon, une plateforme en réseau pour accélérer et faire progresser la recherche en bio-informatique”(2013 年 11 月 19 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3313.htm>

#### ●「Swarm 計画打ち上げの成功」

2013 年 11 月 22 日パリ時間 13 時 2 分、ロシアの Plessetsk 基地で Swarm 計画の人工衛星 3 体の打ち上げが行われ、成功した。欧州宇宙機関(ESA)の本計画のために開発された最先端計測

器を搭載したこれらの人工衛星は、高度 460/530km の軌道を回り、地球の磁場を計測する。

・CNRS “Lancement réussi de la mission Swarm : et trois satellites d'un coup ! ”(2013 年 11 月 22 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3329.htm>

### ●「TOFU プログラムの第 1 回成果報告」

筑波大学の研究グループと共同で環境気候科学研究所 (LSCE-CEA/CNRS/UVSQ) の研究者らが、TOFU (Tracing the environmental consequences of the TOhoku earthquake-triggered tsunami and the FUkushima accident) プログラムの一環として、福島県の観測活動結果を発表した。2011 年 3 月の事故から 6 ヶ月後に開始した本プログラムでは、放射性物質に汚染された地域における放射性物質の河川への移動に関する研究に焦点を当てている。今回の研究結果は、移動のメカニズム、特に台風や堰、植物の関与の理解に役立つものと考えられる。

CNRS “Transfert des particules contaminées dans les rivières de la région de Fukushima : premiers résultats du programme TOFU” (2013 年 11 月 27 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3341.htm>

### ●「環境・分析シテ・リヨネーズ (Cité Lyonnaise) 開所式」

2013 年 12 月 6 日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育研究大臣、ジャン-ジャック・ケイラン (Jean-Jack Queyranne) ローヌ・アルプ地方議会議長、ジェラルド・コロン (Gérard Collomb) リヨン市長は、リヨン環境分析シテ・リヨネーズ (CLEA) の開会式を行った。CLEA は環境学と保健衛生学分野における、欧州規模としてユニークな分析化学と水質管理の研究拠点である。研究拠点は、分析化学研究所 (ISA、CNRS/リヨン第一大学/ENS de Lyon) と Irstea リヨン-ヴィルルールバンヌ (Lyon-Villeurbanne) 研究所を結集させている。

・CNRS “Inauguration de la Cité lyonnaise de l'environnement et de l'analyse le 6 décembre 2013 à la Doua” (2013 年 12 月 2 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3349.htm>

### ●「CNRS 2014 年採用募集」

2013 年 12 月 2 日、CNRS の 2014 年採用募集の開始が発表された。生物学、化学、環境・生態学、人文科学、システム・エンジニアリング、数学、核・粒子科学、物理学、情報科学、地球・宇宙学等、あらゆる科学分野にわたって 300 人の研究者を募集している。応募締め切りは 2014 年 1 月 6 日。

・CNRS “Ouverture des concours chercheurs CNRS 2014” (2013 年 12 月 2 日)

<http://www.dgdr.cnrs.fr/drhchercheurs/concoursch/default-fr.htm>

## フランス国立研究機構 (ANR)

### ●「社会科学分野の欧州-中国国際プロジェクト募集」

ここ数年間、ANR と、ドイツ、オランダ、英国の対応機関は社会科学分野の共同研究の発展に努めてきた。この協力関係は特に、ORA 構想 (Open Research Area for the social sciences) として取り組まれてきた。その一環として、グリーン・エコノミーと人口動態の理解のテーマで、中国-欧州プロジェクトの募集が開始される。提出締め切りは 2013 年 12 月 3 日。

ORA 構想では、2011 年にはインドと、2012 年は米国との国際プロジェクトに取り組んだ。

・ANR “L'ANR lance un appel à projets international Chine-Europe en sciences sociales ” (2013 年 11 月 13 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/l-anr-lance-un-appel-a-projets-international-chine-europe-en-sciences-sociales/>

### ●「Pascale Briand 氏、Science Europe の評議会会員に」

2013 年 11 月 21 日、ブリュッセルで開かれた Science Europe 総会で、Pascale Briand ANR 理事長が評議会会員に選ばれた。今回の選出により、欧州のプロジェクトにおけるフランスの研究の地位と見通しを強化し、主要資金調達機関の中で ANR の位置を確認することが期待される。

Science Europe は、欧州の国立研究資金提供機関と主要研究機関を代表する団体である。

・ANR “Pascale Briand intègre le conseil d'administration de Science Europe” (2013 年 11 月 22 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/pascale-briand-integre-le-conseil-dadministration-de-science-europe/>

### ●「分子テクノロジーに関する日仏プロジェクトのプレ発表」

ANR と JST は、2014 年 1 月に「機能物質のための分子テクノロジー」分野で二国間プロジェクトを募集することを取り決めた。本プロジェクト期間は 3 年間の予定で、ANR が確保しているフランス側の資金は、1 プロジェクトにつき平均 25 万ユーロである。Strategic International Research Cooperative Program (SICP) の一環として JST が確保している日本側の資金は、1 プロジェクトあたり最高 3000 万円である。

・ANR “Préannonce : un appel à projets franco-japonais bientôt lancé sur la technologie moléculaire” (2013 年 11 月 28 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/preannonce-un-appel-a-projets-franco-japonais-bientot-lance-sur-la-technologie-moleculaire/>

## 国立衛生医学研究所 (INSERM)

### ●「Inserm 賞 2013 年」

2013 年 12 月 2 日、コレージュ・ド・フランスで Inserm 医学研究賞 2013 年が 8 名の研究者とエンジニアに授与された。詳細は以下の通り。

Inserm 大賞: Stanislas Dehaene 氏 (Inserm/CEA、パリ第 11 大学)

名誉賞: Daniel Louvard 氏 (キュリー研究所名誉ディレクター)

国際賞: Ogobara Doumbo 氏 (マリ共和国 バマコ、マラリア研究教育センター)

研究賞: Dominique Costagliola 氏 (Inserm-パリ第 6 大学)、

Gulnara Yusupova 氏 (Inserm/CNRS-ストラスブール大学)

革新賞: Joseph Hemmerlé 氏 (Inserm-ストラスブール大学)

Véronique Guyonnet-Dupérat 氏 (Inserm/CNRS-ボルドー大学)

Opecst-Inserm 賞: Jacques Grassi 氏

このうち、国際賞を受賞したマリのバマコ医学大学 Ogobara Doumbo 氏は、長年、抗マラリアワクチンに関する研究に従事してきたということで、一般のメディアにも取り上げられた。

・INSERM “Prix Inserm 2013 : Découvrez les portraits vidéo des lauréats” (2013 年 12 月 3 日)

<http://www.inserm.fr/actualites/rubriques/actualites-evenements/prix-inserm-2013-decouvrez-les-portraits-video-des-laureats>

・rfi “Mali: le professeur Ogobara Doumbo récompensé pour ses travaux sur le paludisme” (2013 年 12 月 3 日)

<http://www.rfi.fr/afrique/20131203-mali-professeur-ogobara-doumbo-recompense-travaux-paludisme>

### ●「Inserm50 周年」

2014 年 7 月に Inserm は創立 50 周年を迎える。Inserm は 1964 年 7 月 18 日の政令により、その前身 INH (国立衛生研究所) から現在の形へと変わった。

・INSERM “L'Institut national de la santé et de la recherche médicale (Inserm) fêtera son 50ème anniversaire en juillet 2014.”

<http://histoire.inserm.fr/de-l-inh-a-l-inserm/l-inserm-de-1964-a-nos-jours/creation>

## フランス国立農業研究所 (INRA)

### ●「有機農業の発展とイノベーション」

2013年11月13-14日、InraとITAB(Institut technique de l'Agriculture Biologique)は、有機農業分野における研究とイノベーションについての現状分析を行った。研究成果報告に加えて、DinABio シンポジウムでは有機農業(AB)の発展と、イノベーションからサービスへと適合させることの問題点が取り上げられた。

2013年は、2009年に開始し2012年に終了したAgriBio3プログラムの成果報告、農業技術研究所としてのITABとのInraの協定締結、農業・農産食品業・林業省の優先課題として、有機農業の開発計画「Ambition bio 2017」の作成が行われるなど、科学面、制度面、政治面において有機農業にとって分岐点となる年だった。

・INRA “Développement et innovation en agriculture biologique”(2013年11月13日)

<http://presse.inra.fr/Ressources/Communiqués-de-presse/Developpement-et-innovation-en-agriculture-biologique>

・INRA “Développement & Innovation en agriculture biologique : DinABio 2013”(2013年11月14日)

<http://www.inra.fr/Entreprises-Monde-agricole/CIAG/Tous-les-magazines/dinabio2013>

### ●「Inra 賞」

2013年12月2日、ステファヌ・ル・フォル(Stéphane Le Foll)農業・農産食品業・林業大臣出席の下、2013年Inra賞授与式がパリのCité de l'architecture et du patrimoineで行われた。Inra賞は、毎年農業分野で卓越した業績を挙げた研究者5名に授与される。受賞者は以下の通り。

- ・大賞: Jean Fioramonti 氏(胃腸生理学)
- ・若手研究者賞: Mickaël Henry 氏(ミツバチ生態学)
- ・技術者賞: Dominique Blancard 氏(植物病理診断へのスマートフォン)
- ・研究支援賞: Josiane Quéré 氏(植物選定)
- ・研究支援賞: Marylise Gratadoux 氏(研究契約)

・INRA “Lauriers 2013”(2013年12月2日) <http://jobs.inra.fr/A-la-une/Lauriers/Lauriers-2013>

・INRA “Lauriers 2013 : le palmarès, les temps forts”(2013年12月4日)  
<http://institut.inra.fr/Reperes/Temps-forts/Lauriers-2013>

### ●「世界土壌デー」

2013年12月5日、経済・地域間平等担当省の後援を受け、FAO、フランス土壌研究協会

(AFES)、地域行政機関 Natureparif が世界土壌デーをパリで開催する。世界土壌デーは毎年 12 月 5 日に上記の 3 機関が開催してきた。Inra 研究者で AFES 会長の Dominique Arrouays 氏は、フランスおよび世界における土壌問題について講演する。フランソワ・フリエ (François Houllier) Inra 会長は「土壌と農業エコロジー」に関する Inra の研究展望を紹介する。

・INRA “Journée mondiale des sols : l’Inra dresse un panorama des recherches sur sols et agroécologie”(2013 年 12 月 4 日)

<http://presse.inra.fr/Ressources/Communiqués-de-presse/Journee-mondiale-des-sols-l-Inra-dresse-un-panorama-des-recherches-sur-sols-et-agroecologie>

### 国立情報学自動制御研究所 (INRIA)

#### ●「Erwan Faou 氏、Gamni-Smai ブレーズ・パスカル賞受賞」

IPSO グループプロジェクトの Inria 研究ディレクターの Erwan Faou 氏 (Inria レンヌ-大西洋ブルターニュ研究所) が 2013 年フランス科学アカデミーの Gamni-Smai ブレーズ・パスカル賞を受賞する。同氏は、パリ第 7 大学、エコール・ノルマル・スペリアール Cachan を卒業、2001 年 INRIA 研究員、2009 年 INRIA 主任研究員、2012 年エコール・ノルマル・スペリアール Paris 教授。

・INRIA “Erwan Faou récompensé par l’Académie des Sciences”(2013 年 10 月 28 日)

<http://www.inria.fr/centre/rennes/actualites/erwan-faou-recompense-par-l-academie-des-sciences>

#### ●「フルール・ペルラン大臣、French Tech の創設を発表」

2013 年 11 月 27 日ベルシーで、フルール・ペルラン (Fleur Pellerin) 生産再建大臣付中小企業・イノベーション・デジタル経済担当大臣は、ルイ・ガロワ投資委員会委員長立会いの下、「デジタル地域」のコードネームで知られている French Tech 構想を正式に発表した。本取り組みでは、国による 2 億ユーロの民間イニチアチブへの投資、デジタル大国としてのフランスの魅力を強化するための 1500 万ユーロの投資など、フランスのデジタルエコシステムをフランス国内および国際的に打ち立て、将来的にはデジタル企業の増加と国際的な地位の確立を目指す。

・INRIA “Fleur Pellerin annonce la création de La French Tech, label de mobilisation et promotion des écosystèmes numériques français”(2013 年 11 月 27 日)

<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/fleur-pellerin-annonce-la-creation-de-la-french-tech>

#### ●「2013 年応用数学・情報科学賞受賞者フォーラム」

2013 年 12 月 18 日、フランス科学アカデミー、SIF (フランス情報科学協会)、SMAI (産業応用数学協会) Inria は、コレージュ・ド・フランスの後援を受けて、2013 年に応用数学と情報科学分野で受

賞された研究者を中心としたフォーラムを企画している。

•INRIA “Forum des lauréats en informatique et mathématiques appliquées 2013”

[http://www.inria.fr/recherches/agenda/forum-laureats-informatique-et-mathematiques-appliquees-20](http://www.inria.fr/recherches/agenda/forum-laureats-informatique-et-mathematiques-appliquees-2013)

[13](#)